



『五色の結い紐』 紐の先が本尊様の手とつながっており、この紐を手で挟んで拝むことで直接本尊様とご縁が結ばれます
ぜひお参りください

住職の一言



今年も宜しくお願い致します

阿部雄峰

延命寺の新年は、除夜の鐘の音とともにスタートしました。心地よい鐘の音は、心を清くしてくれます。

しかし、せっかく清くなった心も、気を抜くと、いろいろな誘惑に負けてすぐに汚れてしまいます。だから汚れないように、常に清らかであるように日々、一瞬一瞬、その都度その都度精進しなければなりません。修行とか精進というと我慢して辛い、というイメージを持たれるかもしれませんが、そうではありません。自分に厳しくすることで大きな幸福が跡からついてくるわけですから、精進修行ができることを喜んで行うのです。このことを仏教語で「随喜」といいます。精進するかしないかで今年が良い年になるかどうか、良き人生になるかどうかが決まるのです。

特に私は住職ですので、一番清らかでなければなりません。「清らかな心を持つ住職だから、読む経に力が具わる。故に坐禅するのだ」亡き師匠が常に言っていた言葉です。怠け者の私には、重く厳しいお言葉ですが、そのとおり。

今年も寺門興隆、檀信徒の幸福のために、少しでも貢献できよう誓い、願い、日々のつとめを行っていきます。

また、長男の慈峰を弟子にする得度式を八月の施食会の際に行う予定です。善き師となれるよう、さらに心を引き締めて精進してまいります。

皆様には今年もあたたかく見守っていただけると幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたって

年が改まってお雑煮をいただく、私達は、お正月が巡ってきたと実感します。この「巡ってきた」という言い方は、一周して元に戻ったという意味をもっています。

去年のお正月と今年のお正月とは、同じではありません。今年のお正月は、たった一度限りのお正月であるはずで

それなのに、私達は、去年お雑煮をいただいたのと同様に、今年もまた、お雑煮をいただく。そういうことを何年も、何十年も繰り返してきたのです。そのことを振り返ってみると、時間・生命・人生は、一本の直線が無限に先へ先へと伸びていくように、ぐんぐん進んでいくばかりで決して脇道へそれたりしないのだろうか、という疑問がわいてきます。

仏教の考え方によると、時間や生命や人生は、線ではなく円として解釈したほうがわかりやすいのです。「輪廻転生」とか「因果」とかいうのは、円に喩えた教えで、例えば、他人を悲しませたり苦しめたりした人は、やがて自分も悲しく苦しい目にあわされることになる。これは、過去・現在・未来が、円形につながっている、と見立てて

いるのです。

良い行いをしておけば、いつの日か、良い報いがある。人助けをする人は、やがて助けてもらうことがある。仏教では「善因楽果・悪因楽果」といいます。

季節は巡り、お正月は巡り、人の行いも巡るのです。一度悪いことをした人は、次から次へと悪いことを重ねてゆく。良いことも悪いことも、巡り巡って、それを行った人に返ってきます。

今日のうちに、やりたいことをみんなやってしまわなくては損をする、というようなやぶれかぶれの人には、明日という日も、次のお正月もありません。

どうせいつかは死ぬのだから、と良い報い、ありがたい果報なんて信じないという方は、あなたのすぐそばにいるお子さんやお孫さんの顔立ち、その行いを見てください。あなたは、ふと自分にそっくり、生き写しの何かを発見して、ハッとなさるのではないのでしょうか。あなたの一生は一度限りですが、あなたは、別の体の中や、あなたのやりとげた仕事などに生まれ変わって、いつまでも円をえがき続けるでしょう。

自分の良き行いが、良き自分となり、周りを良くし、良き人生となるのです。良き生き方を誓い願いまししょう。

今年の行事予定

今までの行事(大般若会・盆行事)に加え、地藏供養、観音供養などの行事にも広く参加できるように変更し、新たに春の彼岸供養を行うことにしました。

また、今まで五十年に一度の御開帳だった薬師如来像を今年からは毎年御開帳します。この薬師様は源家の將軍の眼病をはじめ、多くの人の病を治癒してきたことで知られています。皆様もどうぞこの機会に薬師様のお力をいただいでください。

さらに今年は行事に参加することにスタンプがもらえるスタンプラリーも用意しました。楽しみながら行事に参加していただき、先祖のご供養やご自身の健康につながればと思います。

それぞれの行事の詳細は別紙をご覧ください。

須弥壇修復 釈迦如来像完成

箱形の古い須弥壇の一部を再利用して修復し、須弥壇が新しく生まれ変わりました。

また、仏師に依頼していた釈迦如来像を年末にお迎えし、本来あるべき禅宗の本堂になりました。まだまだ床板や欄間、開山堂など修復しなければならぬところだらけですが少しずつ直していくつもりです。
一度、釈迦如来像に手を合わせにお参りください。



寺子屋学習塾オープン

一昨年リフォームしました客殿にて、三月下旬ごろから週三回、小中学生向けの学習塾を開講します。縁あって外部の講師が塾を経営する形になりますが、お寺としても子供たちの学びの場として一室を提供することは大変意味のあることと考えています。

あまり大々的に告知はしませんので、丁寧な個別指導が受けられると思います。お近くの方はぜひお子様やお孫さんと無料体験へお越しください。



永代納骨堂の建設開始

前回の寺報でもお知らせしましたが、永代納骨堂の建設工事を二月中旬ごろから開始することとなりました。境内の南側にある古い弘法堂を、納骨堂に増改築します。六月末完成予定です。工事中はいろいろとご不便をおかけしますがどうぞ宜しくお願いいたします。

納骨堂の詳細を知りたい方はご連絡ください。

お札をお渡しします

一月中にお参りに来られた方には、一日にご祈禱した二枚のお札をお渡しいたします。(無料)
昨年のお札をお持ちの方はお寺へお持ちください。



㊤台所用・㊦玄関用

精進ごはんレシピ



お正月やひな祭りなどの節句の料理によいですよ。

【精進ちらし寿司】

材料(4人分)

米…2カップ 人参…2cm 牛蒡…4cm はっさく…1個 干し椎茸…2枚 ゆば…適宜 高野豆腐…1/2枚 絹さや…10枚
昆布だし…1 1/2カップ 塩…小さじ1 醤油…大さじ1 みりん…80cc 酢…80cc 酒…少々

作り方

- ①酢に絞ったはっさくの汁を加え、それをごはんに入れてなじませる。
- ②人参と牛蒡をさがきに切り、干し椎茸は水に戻し千切りにする。高野豆腐はよく戻し、1cm弱のサイコロに切る。ゆばは好みの大きさに切る。
- ③それぞれをみりん、酒、塩、醤油で淡味にして順に煮ていく。最初に人参を煮て柔らかくなったら引き上げ、その汁でゆば、高野豆腐を順に煮ていく。干し椎茸は醤油、みりんでき味を足して味を濃くする。次にごぼうを煮る。
- ④煮しめて粗熱をとった後、はっさくを、酢、塩、みりんでき味を調べ、炊き上がったごはんに切り混ぜる。
- ⑤ゆばをちらし、青みに塩ゆでした絹さやの千切りを散らす。紅しょうが、胡麻を加えてもいい。

編集後記

保護犬の普賢が家に来て二か月半が経ちました。日に日に成長し、今では二歳の三男と同じくらいの大きさで兄弟のようにじゃれあっています。犬は人間の数倍もの速さで年をとります。来年には普賢は人間でいう二十歳くらいになるのかと思うと一日一日の触れ合いがとても大切なものを感じられます。人との関わりも同じです。人生はいつまで続くのか誰にもわかりません。家族はもちろん、出会う人すべてとの一瞬一瞬を大切にしていきたいものです。



お知らせ・募集

◆のぼり奉納 随時受付中

皆様の願文とお名前を墨書し、境内に一年間奉納させていただきます。

【冥加料】一枚 三千元

◆寺子屋講座「心が晴れる法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日

午後一時～午後三時半

(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円

子供無料

お釈迦様についての法話、簡単なイス坐禅、写経。

子供は写仏。

受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。

<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺